

# 平成22年度一般会計予算概要

～やさしいまちづくり「生き活きタウン朝霞」を目指して～

平成22年度の予算などを審議する平成22年第1回市議会定例会が2月26日(金)に招集されました。初日の本会議で富岡市長は、新年度にあたっての市政運営に対する基本的な考え方と主な事業について施政方針を述べました。この方針に基づいた新年度予算は、市議会最終日の3月19日(金)に可決されました。ここでは、これらの概要についてお知らせします。

私は、市長に就任以来、皆様より多くのご支援、ご協力を賜り、市政運営を預かる者として、また、ふるさとを愛する一人の朝霞市民として、常に市民の皆様の目線に立ち、全力で市政運営に取り組んでおります。

これまでの間、特に重要度の高いと思われる施策をまとめたマニフェストに基づく事業を中心に、第4次朝霞市総合振興計画の将来像である「水と緑に満ちた やすらぎと生きがいのあるまち 朝霞」の実現に向け、市民サービスの向上に必要な全般的な施策を幅広く、計画的に実施してまいりました。

2期目の市政に際しましては、「子育てにやさしいまちづくり」、「お年寄り・障害者にやさしいまちづくり」、「心地よく過ごせるやさしいまちづくり」の3つの視点からなる「生き活きタウン朝霞」の実現を重点に置き、市民並びに議員の皆様のご協力をいただきながら、子育て世代、お年寄り、障害者など、すべての市民の皆様によさしいまちづくりを積極的に進めているところでございます。

このような中、わが国の景気動向は、内閣府が発表する月例経済報告によりますと、「持ち直しているが、依然として厳しい」状況にあるという判断がなされております。平成20年秋以降続いた「急速に悪化している」状況からは変化しつつあるものの、先行きについては依然厳しく、今後におきましても、雇用情勢の悪化や、海外景気の下振れの懸念など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要があるとされております。

また、昨年、国政においては政権交代が行われ、我が国の政治は大きな転換期を迎えております。新政権は、発足後直ちに、前政権時代に編成された第1次補正予算の見直しや、事業仕分けなどの作業を実施いたしました。さらには、「雇用」「環境」「景気」を主な柱とし、「生活の安心確保」や「地方支援」などにも強力に取り組むことを目指した「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を、昨年12月に閣議決定しております。しかしながら、今後の政策の展開については、景気回復に

向けた具体的な効果があるかどうかは、未知数であると考えざるを得ません。

このような社会経済情勢の中、平成22年度の本市の財政状況に目を転じますと、歳入面においては、長引く景気の低迷による影響から個人市民税が大幅に減収となる見込みでございます。さらに、そのほかの財源においても、子ども手当の実施に伴う国庫支出金および県支出金の増額を除けば、全般的に減少する傾向にあります。その一方で、歳出面においては、生活保護費や医療・福祉などの社会保障経費が今後増加することが見込まれており、歳入、歳出共に、非常に厳しい状況にございます。

したがって、平成22年度予算の編成に当たりましては、事業費の精査による歳出の縮減と、優先度の高い事業には重点的に予算を配分する政策主導型の予算編成を通じて、長期的に持続可能で健全な行財政運営を図りながら、市民サービスの低下を来すことなく、また、より質の高い行政サービスの提供できるよう最大限の努力をいたしました。

## 自然と調和した ゆとりある都市づくり

自然と調和したゆとりある都市づくりでございますが、(仮称)浜崎ふれあい公園新設事業では、現在のふれあい広場ラベンダー畑周辺にスポーツ広場等を設置し、市民の皆様が四季を通して楽しむことができる公園を整備するための検討に着手いたします。また、道路緑化整備や駅前広場のフラワー化などを進める、花と緑のまちづくり事業を実施してまいります。根岸台五丁目地区の組合施行の土地整理事業では、組合に対する補助を実施するほか、道路改良事業、下水道事業などの生活基盤施設の整備・充実を図ってまいります。緑化推進では、生け垣の設置を奨励する補助制度を実施するほか、(仮称)根岸台四丁目緑地用地を購入し、緑地の保全と景観の維持を推進してまいります。



## 安全で快適な生活環境づくり

安全で快適な生活環境づくりにつきましては、防災対策において、既存建築物の耐震診断および耐震改修工事や、自主防災活動に対する補助制度を実施してまいります。防犯対策では、引き続き青色回転灯装着車両での巡回パトロールを実施するなど、犯罪のない安心・安全なまちを目指して、防犯活動を推進するほか、町内会等で設置する防犯灯に対する補助を増額いたします。消防では、朝霞地区一部事務組合への負担金のほか、女性消防団員の採用に伴い被服等を整備してまいります。交通安全対策では、自転車転倒事故等による頭部のケガを軽減させるヘルメット着用の普及促進を図るため、新たに児童・幼児用自転車ヘルメットの購入助成を実施いたします。そのほか、放置自転車対策指導員による見回りを実施し、駅周辺における良好な環境を整備してまいります。また、小学校の通学路に配置している交通指導員を増員し、児童の通学時の更なる安全を図つ

てまいります。環境対策では、太陽光発電システム設置



費に対する補助制度を拡大し、環境への負荷の少ない太陽光を利用したクリーンエネルギーの導入を促進するほか、生活環境の保全および廃棄物の適正な排出処理の促進を図り、循環型社会における資源物の再生利用を目的とした、ごみ集積所の分別指導および資源物の持ち去り防止監視パトロールを実施いたします。また、クリーンセンター内に建設いたしましたプラスチック類処理施設により、廃棄物の再資源化を推進するなど、環境施策の充実を図ってまいります。

## みんなで支え合う健やかな社会づくり

みんなで支え合う健やかな社会づくりにつきましては、児童福祉関係では、社会福祉法人が新たに建設する認可保育園2園の整備に対する補助を実施してまいります。高齢者福祉関係では、高齢者の外出支援を目的として実施しております高齢者バス共働カ一

ト事業を、鉄道でも利用できるとする高齢者バス・鉄道共働カ一ト事業として実施いたします。障害福祉関係では、朝霞市障害者プランの基本理念であります「一人ひとりを大切にしたい共に生きる社会を目指して」を推進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に個性を尊重し、支え合う共生社会づくりを進めます。保健事業では、発達障害児者に対する総合的な支援制度であります「育み支援バーチャルセンター事業」を引き続き実施し、発達の遅れや、発達に気になる幼児・児童の健全な育成を推進してまいります。そのほか、予防接種、がん検診の実施など、乳幼児から高齢者まで、生涯を通じた市民の健康づくりを進めてまいります。

## 豊かな心と人間性を育む人づくり

豊かな心と人間性を育む人づくりにつきましては、学校教育関係では、第四小学校の新校舎開校、第五小学校においては新校舎棟の使用を開始するほか、第三中学校に、新たに特別支援学級を開設いたします。また、小学校低学年複数担任

制や、あさか・スクールサポーターを配置するなど特色ある学校づくりを進めます。学校施設整備では、小中学校のトイレの快適環境を目指し、整備改修を計画的に進める予定であり、平成22年度は、第一小学校、第二小学校、第二中学校および第三中学校の4校のトイレ改修工事を実施いたします。そのほか、学校給食では、より一層の食育の充実を図るため、第四小学校および第五小学校において自校式給食を開始いたします。生涯学習関係では、あさか市民学び支援制度により聴講できる大学を、1校から4校に拡大することで、制度の利用を促進し、市民の生涯学習活動を支援してまいります。また、公民館、図書館、博物館では、催し物、講座など各種事業を実施し、生涯学習の一層の推進を図ります。



## まちの活力を生み出す産業づくり

まちの活力を生み出す産業

づくりにつきましては、産業育成として、市民が誇りをもてる朝霞ブランドの普及に努めてまいります。産業活性化といたしましては、誰もが安心・快適に買い物ができるよう、歩行者空間の確保を図り、インターロッキングや無電柱化などを取り入れた魅力ある駅前通りの整備を図るため、朝霞駅南口駅前通りアメニティーロード化基本構想を策定するほか、引き続き、商工会、商店街への補助制度を実施してまいります。また、起業家育成支援センターの利用を促進し、地域での起業と新たな雇用の促進を図ってまいります。農業の振興では、新たに（仮称）青葉台農園を新設するなど市民農園の整備や、地場野菜の生産振興のほか、地産地消の推進に対する補助制度を実施いたします。勤労者支援では、就労希望者自身のスキルアップを図ることを目的に、就労を希望している方や、転職を希望している方を対象に、就労に役立つ知識、心構え等を習得するためのセミナーを実施いたします。

## ふれあいと連帯を 広げる地域づくり

ふれあいと連帯を広げる地域づくりにつきましては、コミュニティ活動の推進として、岡町内会館の新築に対する補助を実施し、町内会活動の活性化を図るほか、市民まつりへの助成などを通して、コミュニティ組織の充実、市民の連帯意識の高揚を図るための施策を推進してまいります。また、市民活動支援ステーションでは、より一層市民活動を支援し、NPOなど市民活動が活発に行われ、ボランティア・市民活動に参加しやすい環境を整備するため、市民活動団体支援補助制度を設立するほか、団塊の世代の知識や経験、能力を地域活動に活かしていただくなど、生きがいづくりを推進するため、シニア活動センターの設置、また、セミナー等を実施いたします。そのほか、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、男女平等推進条例および男女平等推進

行動計画を踏まえて諸施策を実施いたします。また、戦後65年の節目を迎え、過去の戦争により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、戦争の記憶を風化させることなく、21世紀を平和の世紀としていく意識の醸成を図るため、戦没者追悼式を実施いたします。



### 都市づくり

- 朝霞駅地下通路のアート化事業
- (仮称) 浜崎ふれあい公園基本構想策定
- 花と緑のまちづくり事業
- 土地区画整理組合補助金 (根岸台五丁目土地区画整理組合)
- 道路新設改良事業 (改良工事4路線、舗装工事1路線、用地取得)
- 街路事業 (緑ヶ丘通線、観音通線、駅西口富士見通線、駅東通線、岡通線の整備)
- (仮称) 根岸台四丁目緑地用地購入

### 生活環境づくり

- 防災対策の強化 (建築物の耐震診断および耐震改修補助、自主防災組織リーダー講習会の実施など)
- 防犯対策の強化 (町内会等防犯灯に対する補助、防犯パトロールの推進など)
- 女性消防団員の採用
- 放置自転車対策の実施
- 交通指導員の増員
- 水質調査、大気調査
- ダイオキシン類環境調査
- ごみ集積所監視パトロールの実施

### 社会づくり

- 社会福祉法人が新設する保育園2園の整備費補助
- 育み支援バーチャルセンター事業
- 各種健康診査の実施 (母子健康相談、妊婦一般健康診査、予防接種、がん検診など)

### 人づくり

- 特色ある学校づくり支援 (小学校低学年複数担任制、あさか・スクールサポーター、小学校理科支援員など)
- 第五小学校改築事業 (工事)
- 第三中学校特別支援学級の開設
- 第一・第二小学校、第二・第三中学校のトイレ改修 (工事)
- 第四・第五小学校の自校式給食室運用開始

### 産業づくり

- 「朝霞ブランド」の推進・普及
- 朝霞駅南口駅前通りのアメニティーロード化 (基本構想策定)
- 起業家育成支援 (起業家育成相談、ビジネス支援サービスなど)
- (仮称) 青葉台農園新設
- 地場野菜の生産振興
- 地産地消推進に対する補助制度の実施
- 就労者支援セミナーの実施

### 地域づくり

- 町内会、自治会等への補助 (岡町内会館新築工事への補助など)
- 市民まつりへの助成
- 市民活動団体支援補助
- シニア活動センターの設置
- 男女平等推進に関する諸施策の推進
- 戦没者追悼式の実施

### 給付事業の引き上げなど

- 児童・幼児用自転車ヘルメット購入助成事業補助金の創設
- 太陽光発電システム設置費補助金の拡大
- 高齢者外出支援の拡大 (高齢者バス共通カード→高齢者バス・鉄道共通カード)
- あさか市民学び支援制度の拡大
- 子ども手当の創設



# 一般会計予算の構成

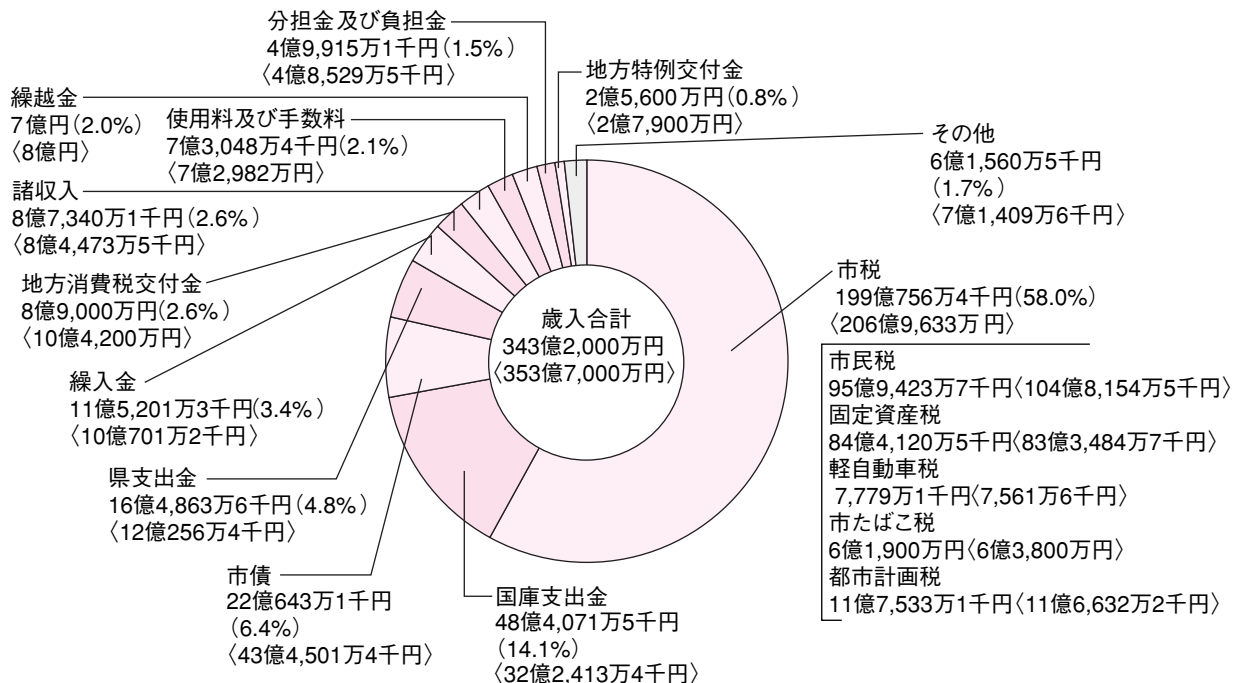
対前年度比  
**3.0%減**

一般会計予算の総額は、343億2,000万円で、前年度当初予算額353億7,000万円に対して、3.0%(10億5,000万円)の減となっています。これを歳出予算について比較してみると、教育費が朝霞第四小学校改築事業が終了したことなどにより、38.9%(31億1,900万2千円)の減、土木費が公園管理事業などにより、16.6%(5億7,476万3千円)の減となる一方で、民生費が子ども手当給付事業などにより、21.3%(25億4,526万2千円)の増、衛生費が可燃ごみ処理事業などにより、7.9%(2億1,583万2千円)の増となっています。

問い合わせ／財政課 内線2323 ☎048-463-3179 (直通)

## 歳入の状況

〈 〉内は昨年度当初予算額



## 歳入

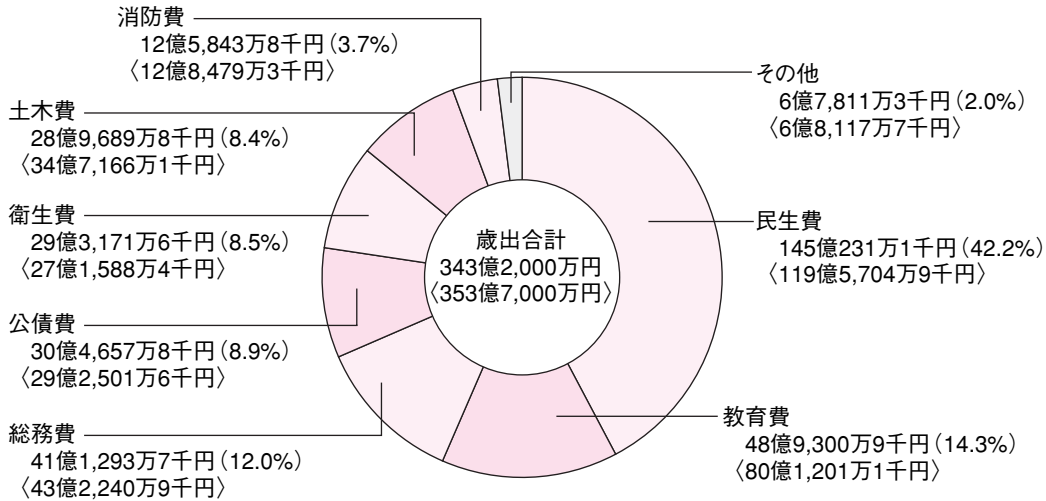
款	区分	予算額	構成比	増減率
市	税	199億756万4千円	58.0%	△ 3.8%
	地方譲与税	2億2,000万円	0.6	△ 5.6
	利子割交付金	1億2,300万円	0.4	△ 25.0
	配当割交付金	7,800万円	0.2	△ 31.0
	株式等譲渡所得割交付金	400万円	0.0	△ 66.7
	地方消費税交付金	8億9,000万円	2.6	△ 14.6
	ゴルフ場利用税交付金	1,400万円	0.0	△ 6.7
	自動車取得税交付金	7,900万円	0.2	△ 21.0
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	7,900万円	0.2	92.7
	地方特例交付金	2億5,600万円	0.8	△ 8.2
	地方交付税	1千円	0.0	△100.0

款	区分	予算額	構成比	増減率
	交通安全対策特別交付金	1,540万1千円	0.1%	△13.1%
	分担金及び負担金	4億9,915万1千円	1.5	2.9
	使用料及び手数料	7億3,048万4千円	2.1	0.1
	国庫支出金	48億4,071万5千円	14.1	50.1
	県支出金	16億4,863万6千円	4.8	37.1
	財産収入	320万2千円	0.0	△ 5.3
	寄附金	1千円	0.0	0.0
	繰入金	11億5,201万3千円	3.4	14.4
	繰越金	7億円	2.0	△12.5
	諸収入	8億7,340万1千円	2.6	3.4
	市債	22億643万1千円	6.4	△49.2
合	計	343億2,000万円	100.0	△ 3.0

※パーセント表記のものについては、小数点以下第2位を四捨五入しています。

# 歳出の状況

〈 〉内は昨年度当初予算額



## 歳出

款	区分	予算額	構成比	増減率
議会費		2億6,254万2千円	0.8%	△9.0%
総務費		41億1,293万7千円	12.0	△4.8
民生費		145億231万1千円	42.2	21.3
衛生費		29億3,171万6千円	8.5	7.9
労働費		2,714万6千円	0.1	0.5
農林水産業費		9,651万2千円	0.3	17.6
商工費		2億3,496万1千円	0.7	3.5

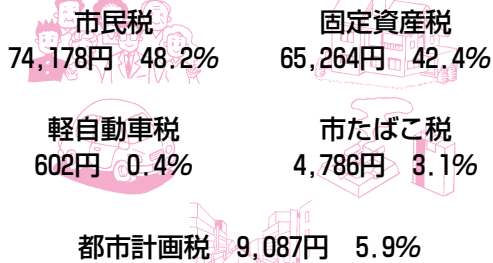
款	区分	予算額	構成比	増減率
土木費		28億9,689万8千円	8.4%	△16.6%
消防費		12億5,843万8千円	3.7	△2.1
教育費		48億9,300万9千円	14.3	△38.9
公債費		30億4,657万8千円	8.9	4.2
諸支出金		695万2千円	0.0	3.7
予備費		5,000万円	0.1	0.0
合計		343億2,000万円	100.0	△3.0

**議会費**…議会の活動に要する経費です。  
**総務費**…戸籍・統計・徴税・選挙等の経費です。  
**民生費**…福祉など、住民の一定水準の生活を確保し、安定した社会生活を保障するために支出される経費です。  
**衛生費**…ごみ処理や公害対策など、住民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費です。  
**労働費**…労働者を支援するための各種事業に要する経費です。  
**農林水産業費**…農業の改良や組合の指導育成、農業施設の管理のための経費です。

**商工費**…中小企業への融資支援、商工業の振興等のための経費です。  
**土木費**…道路橋りょうの整備・改良、都市計画等に要する経費です。  
**消防費**…災害から地域住民の生命と財産を守るために必要な消防設備等の整備を行うための経費です。  
**教育費**…学校、図書館、公民館、博物館等の施設の設置管理、その他教育や学術文化に関する事務を行うための経費です。  
**公債費**…市が借り入れた市債（借金）の元金、利子の償還費です。

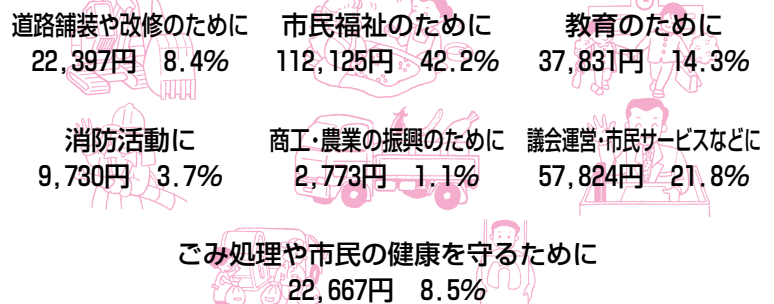
## 市民1人当たりが負担する税金 総額15万3,917円

市民1人当たりが負担する市税は、市民税・固定資産税など合計15万3,917円で、市が皆さんのために使うお金との差額は、国や県からの補助金や、借入金（市債）などの財源で賄われます。



## 市民1人当たりに使われる市のお金 総額26万5,347円

今年度、朝霞市の一般会計予算は、343億2,000万円ですから、これを市民1人当たりを使うお金に換算すると、26万5,347円になります。その内容は、次のようになります。



※平成22年1月1日現在の人口129,340人を基に算出しています。また、円単位未満は四捨五入しています。

## 〈特別会計・水道事業会計〉

会計名	本年度	前年度	増減率
特別会計	175億7,156万9千円	171億8,355万4千円	2.3%
国民健康保険会計	107億9,325万円	108億8,668万4千円	△0.9
下水道事業会計	15億9,608万5千円	16億6,438万3千円	△4.1
老人保健会計	184万1千円	1,239万9千円	△85.2
介護保険会計	43億6,033万3千円	38億4,156万8千円	13.5
後期高齢者医療会計	8億2,006万円	7億7,852万円	5.3
水道事業会計	27億5,222万1千円	28億1,501万1千円	△2.2